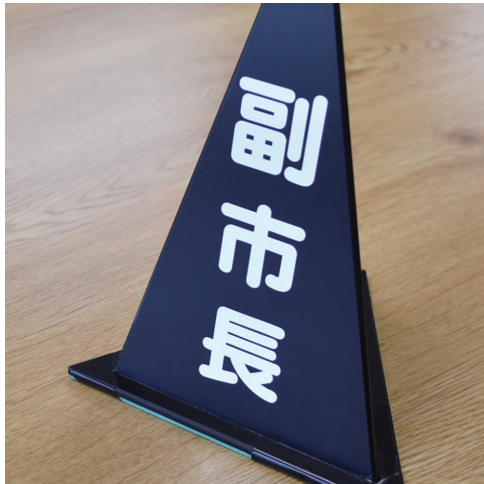




避難所運営訓練の様子
(シェイクアウト訓練)

車中泊を含めた避難対策を
答 避難環境の整備を進めたい

河田 美穂 議員
(公明党)



副市長の氏名標

約2年副市長不在
答 しかるべき時期に

久保 典彦 議員
(自民・新会)

問 ワクチン接種をスムーズに行うための施策は。

〔市長〕 接種会場や医師・看護師などの人員を確保し、クーポンの作成・発送準備などを進めている。

問 図書館などに図書除菌機の設置をすべき。

〔教育部長〕 返却されたすべての図書等は、拭き取りによる消毒作業を行っている。

問 避難行動を促すため、自力で避難が困難な方を輸送するため、介護タクシー事業者など民間活力を考えるべき。

〔危機管理監〕 要配慮者の避難支援は重要。さまざまな先進事例等を踏まえ検討したい。

問 コロナ禍での避難所運営訓練のやり方を考え、職員も机上だけではなく実地訓練をすべき。

〔危機管理監〕 今後、職員の実地訓練・コロナ禍を考慮した避難所運営訓練を行い、マニュアルなどに反映したい。

問 避難対策の一つとして「車中泊」対策も考えるべき。

〔危機管理監〕 車中泊の場所、エコノミークラス症候群予防やトイレ対策などの避難環境について進めていきたい。

問 家具などの転倒防止用品の助成、さらに高齢者・障がい者宅などへの取り付け費用の支援も考えるべき。

〔危機管理監〕 自助共助が基本だが、新たな制度が必要なのも含めて検討する。

問 SDGs推進のため小中学校で持続可能な社会の担い手の育成をすべき。

〔教育部長〕 教育活動の向上に努める。

問 新型コロナウイルス感染症等の影響で、国難とも言える昨今の社会情勢においても、2年近く、本市におけるナンバー2と言える副市長が不在。大変大きな問題であると認識をしている。市長自ら国や府に出向き、直接的に取組んでおられるにもかかわらず、それでも現在、副市長が不在ということは、国や府とのパイプが適切に機能していないということか。

〔市長〕 副市長人事については、代表質問でもお答えしたが、府市連携のまちづくりを進める上で大変重要であるというふうに考えている。その職責にふさわしい適任の方を任命できるよう、引き続き取り組んでいきたい。

問 部局間をまたいでの調整や、1つの事業を達成する上で、部長と部長はあくまで並列。そこで折衝というのはなかなか難しいからこそ、副市長という立場から、その調整が必要。だからこそ、早期に任命すべき。

〔市長〕 人事に関するところで非常にセンシティブなものであり、タイミングがある。そういったタイミングを逃すことなく、引き続き取り組んでいきたい。

問 国や府に連携を取るために調整されているが、それでも副市長が任命できないということは、連携が今、希薄になっているということか。

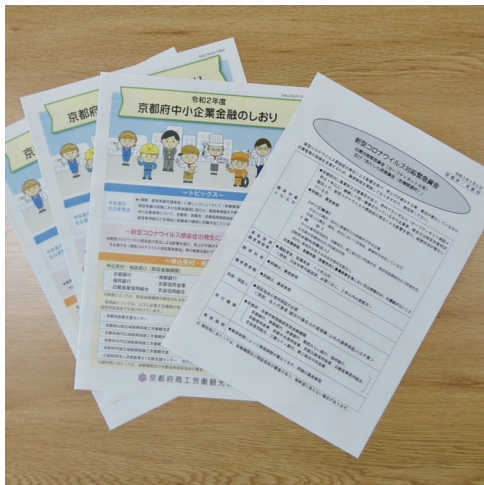
〔市長〕 しかるべき時期、タイミングというものがある。それを逃すことなく進めていきたい。



新名神交差点より上流の防賀川

京田辺市に保健所再配置を
答 平時の役割から今の体制に

青木 綱次郎 議員
(共産党)



新型コロナ対策関連の
融資関係パンフレット

猪対策交付金補助金活用を
答 活用も含め研究する

南部 登志子 議員
(無会派)

問 水道事業についての複数水源確保についての認識は。

①府は「広域化推進プラン」を作成中で、普賢寺浄水場廃止も検討されている。強引な水道広域化は中止を。

〔公営企業管理者職務代理者〕 ②自己水と府営水を両輪とし、非常時も含めた安定供給に努め、バランスがとれたかつ余裕のある水量、水源を確保する。③安定的に水道事業を運営するために、広域連携の検討を行うことは必要。時期や内容は各市町村で慎重に見極める必要がある。水道事業経営審議会を開き広域化について意見をもらい、議論する。それを踏まえて庁内で検討していく。

問 新型コロナウイルス拡大期に自宅待機となった方が府全体で数百人になり、保健所対応が追いつかない事態もあった。府の保健所数は人口が約半分の和歌山県と同数しかなく、市に保健所を再設置するよう要望すべき。

〔健康福祉部長〕 山城北保健所には、府北部の保健所や、保健師等養成機関の教員、管轄の市町から持続的に保健師を派遣する中、対応している。平時の役割は、広域的な調整支援であることから、現在の体制に編成された。自宅療養者の観察支援をしたケースもあったが、山城北保健所で十分対応できている。

問 吉原川改修の見通しは。

〔建設部長〕 吉原川改修は令和4年度から着手予定。防賀川改修は府へ要望する。

問 新型コロナ対策。①所得が激減している市民に支援を。②医療・介護従事者、教員や保育士に定期的なPCR検査を。③今後、市の財政は厳しくなる。市長や議員などの報酬削減を。

〔健康福祉部長〕 ④必要な方が各種制度を活用できるよう関係機関と連携して支援する。⑤陽性者が出た場合、PCR検査の拡大実施に費用を助成。

〔市長〕 ⑥議員の報酬削減は議会で議論を。市長の給与は今後の情勢で検討する。

問 普賢寺地域の害獣被害と対策。⑦高齢化や後継者不足で田畑や山林などの管理が難しくなっている、農業収入が低い、市外在住所有者の存在など複合的要因がある。森林環境譲与税や特定防衛施設

周辺整備調整交付金を活用しながら、当事者とともに農地や山林などの整備を。①本市は他市町と比べて猟友会の会員が少ない。木津川市は、狩猟免許取得や初期費用への補助・捕獲補助金への上乗せなどで市民が捕獲に取組む体制を整備されている。本市でも必要では。電柵購入の申請は事後申請方式に切り替えを。

〔経済環境部長〕 ②地域、行政、関係機関と連携して体制づくりを引き続き構築していく。放置された人工林、荒廃した自然林の調査や整備については森林環境譲与税の活用も含め研究する。④木津川市の事例は今後参考にする。事後申請方式は特に考えていないが、有効に活用してもらえたら検討していきたい。